

2021 年度文系チャレンジ講座（第8回）を実施しました

1月26日（水）、経済学部 碓 邦生先生を講師に迎えて、「ビジつく！—1 時間で始められる学生起業—」というテーマで文系チャレンジ講座の第8回を実施しました。中津南、国東、大分鶴崎、大分商業、臼杵、竹田、安心院、大分東明高校の8校218名が受講しました。

碓先生はまず、トレーニングを積むことで、若者でもビジネスアイデアを生み出すことができると話されました。学習することで自身の興味・関心を知り、キャリアを積むことでそれを確認し、素人でもいいから若者が自分の好きな分野で起業することで、社会を活性化してほしいと高校生に訴え、実際小さな町で



起業してヒット商品を生み出し、町の人口を増加させた掃除機メーカーやビールメーカーの例を提示されました。

続いて、良いビジネスアイデアは人間の欲求を刺激するシンプルなものがよいと話され、実際にアイデアを出すトレーニングを紹介されました。参加した高校生に1

～6までの数字を3つ選んでもらい、それぞれに割り当てたキーワードを使って「概念」×「接着剤」×「アイデア」を実際に作ってもらいました。

概念の項目は「1仕事2恋愛3国内旅行4海外旅行5スポーツ6創作活動」、接着剤の項目は「1できる人の為の2できない人の為の3したい人の為の4したくない人の為の5している人の為の6していない人の為の」、アイデアの項目は「1カフェ2コンビニ3カラオケ4テーマパーク5予備校6ゲーム」 高校生の発表

では、「お金はあるが海外旅行できない人のための、仮想空間で旅行を体験し冒険をして課題をクリアしたらご当地の食べ物がもらえるゲーム」や「修学旅行に行かない人のための、難関大学を目指して勉強するための予備校」など、ユニークなアイデアが出され、大いに盛り上がりました。講義後のアンケート調査では、「総合的に判断して授業がよかった」（99%「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「わかりやすかった」（96%）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（99%）と

いう結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（88%）、「映像はよく見えた」（96%）という結果でした。生徒からは「欲望を刺激するものが流行るという話に興味を湧いた。アイデア理論が面白い。急な思いつきを大事にしていきたい。」等の感想が出され、貴重な体験になりました。

ビジつく!

初学者がビジネスアイデアを作るべき3つのメリット

学習のメリット：経営学のすべての領域に深く広く触れることができる
キャリアのメリット：将来を考えると軸が見つかる
皆は何にだってなれるし、どこにだっていける
社会のメリット：若い人に起業して欲しい

Amateurs Drive Innovation
イノベーションは、その分野が好きで好きでたまらないという素人から起こる。
シリコンバレーでは20代が起業家の旬

MIT Technology Review

CHECK!!

ビジつく!

概念 × 接着剤 × アイデア

ビジつく!

ワークシート（見本）

サイコロの内容

海外旅行ができない人の為のカウンセリング

Q1. どのようなお客さまになるの？
毎年、長期休みになると海外旅行で世界中遊びに行っていた30代独身女性。

Q2. お客さまは何に困っているの？
海外旅行で楽しむ海外グルメが何よりも楽しかった。
コロナ禍のために、海外旅行ができなくなった。

Q3. 何があつたら解決できる？
海外レストランから直送のグルメ宅配を外国人と一緒にご飯を食べるオンライン食堂